

## テクトロニクス、業界トップクラスのリアルタイム信号解析製品ラインアップを 2013 MTT-S IMS で展示

スペクトラム管理、無線通信、レーダ、WLAN 信号テストなど、  
さまざまなアプリケーションに対応

[2013年5月28日 オレゴン州ビーバートン発]

テクトロニクスは、6月4～6日に米国ワシントン州シアトルで開催される、[IEEE MTT-S 2013 International Microwave Symposium \(IMS\)](#) の展示会(ブース番号:820)で、業界トップクラスの RF/マイクロ波信号生成/解析ソリューションを展示します。[無線通信](#)、[スペクトラム解析](#)、[レーダ](#)、WLAN 802.11xx の信号テストなどのアプリケーションに対応する製品ラインアップを展示します。製品として、[AWG70000 シリーズ](#) 任意波形ジェネレータを展示します。AWG70000 シリーズは、高速のサンプル・レート、ロング・メモリ、広いダイナミック・レンジの組み合わせを可能にした波形ジェネレータです。展示会ではさらに、リアルタイム・スペクトラム・アナライザ・ソリューション、世界初のミックスド・ドメイン・オシロスコープも操作いただけます。

混雑した無線スペクトラムにおけるデジタル RF の進歩により、わずかなスペクトラム発生でも取込めるようなシグナル・アナライザが求められています。テクトロニクスは、時間と共に変化する信号のトランジェントを直感的なライブ・カラー表示で観測できる、画期的な DPX スペクトラム表示でこのニーズに対応した、業界初の計測器メーカーです。ハンドヘルド・タイプの [H500/SA2500 型](#) から高性能な [RSA6000 シリーズ](#) まで、テクトロニクスは DPX リアルタイム信号解析機能を装備した、業界で最も豊富な製品ラインアップを揃えています。

テクトロニクス、ソース・アナライザ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャの Jim McGillivary は、次のように述べています。「RF のエンジニアは、以前にも増して、短時間の信号、高速なスプリアス測定、効率的なトラブルシュートによる信号解析を必要としています。このニーズへの対応を開始したばかりのメーカーがある中、テクトロニクスはこのカテゴリを創出し、[SPECMON シリーズ](#) による干渉特定ソリューション、新しいミッドレンジの [RSA5000 シリーズ](#) ・スペクトラム・アナライザなどの画期的な新製品を発表しています」

スペクトラム管理のアプリケーションでは、従来の技術による未知の信号を取込み、特定する問題点についてデモします。次に、SPECMON を使用して最小  $3.7 \mu\text{s}$  のイベント信号を 100% の POI (Probability Of Interest、捕捉確率) で検出し、取込むことにより、迅速なトラブルシュートが可能になる様子をご覧ください。

このデモにおいて、お客様にはライブ波形から 6 つの信号源を当てていただきます。正解者は iPad Mini が当たる抽選にご参加いただけます。

レーダ、電子戦に従事されるエンジニアに対しては、[AWG70000 リーズ](#) 任意波形ジェネレータを使用し複数のハイスピード・レーダ・パルス生成をデモします。次に、RSA6000 シリーズ・スペクトラム・アナライザの DPX Density トリガを使用し、最高 110MHz、広いダイナミック・レンジで特定のレーダ信号を検出する様子をご覧ください。

AWG70000 シリーズは、最高 20GHz のベースバンド、IF、RF 周波数の広帯域信号を、 $-80\text{dBc}$  以上のダイナミック・レンジで出力します。最大 16G ワードの波形メモリにより、実際の信号環境をシミュレーションするのに十分な長さの信号を出力できるため、市場に出回っているどのシグナル・ジェネレータよりも柔軟なワイドバンド信号生成が可能です。

テクトロニクスは協力企業である Octoscope 社と共に、[MDO4000 シリーズ](#)・ミックスド・ドメイン・オシロスコープで 802.11g バースト信号の解析をデモします。MDO4000 シリーズは、スペクトラム・アナライザを統合した世界初のオシロスコープであり、テクトロニクスはマイクロ波、RF 市場に毎年のように画期的な技術革新を提供し続けています。

## IMS について

IMS (International Microwave Symposium) は、IEEE MTT-S (Microwave Theory and Techniques Society) によって毎年開催される会議／展示会です。展示会では 550 社以上の企業による展示、さまざまな商用／防衛用アプリケーションのための無線通信、レーダ、RF 技術、高周波半導体、電磁技術に関する 160 以上の技術プログラム、ワークショップ、パネル・ディスカッションが予定されています。詳細については、IMS2013 のウェブ・サイト ([www.ims2013.org](http://www.ims2013.org))、Facebook ([www.facebook.com/IEEE.MTT.S.IMS](https://www.facebook.com/IEEE.MTT.S.IMS))、Twitter ([twitter.com/MTT\\_IMS](https://twitter.com/MTT_IMS)) をご覧ください。

## テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界22カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブ・サイト(<http://www.tektronix.com/ja>)をご覧ください。

## テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix\\_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

## お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL <http://www.tektronix.com/ja>

報道関係者からのお問い合わせ先  
テクトロニクス 広報室 瀬戸  
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667  
Email: [seto.atsuko@tektronix.com](mailto:seto.atsuko@tektronix.com)

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。